

各種お知らせ

学生部

■2020年度「オンライン大学祭」

10月25日・26日に予定していた本年度の大学祭は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となりましたが、学友会主催の「オンライン大学祭」が11月28日に開催されました。

感染対策を徹底した上で、バンド、クイズ大会、劇、カラオケ、ダンス、抽選会など様々な企画が実施され、大盛況の「オンライン大学祭」となりました。学友会の皆さん、お疲れ様でした。



2020年度「オンライン大学祭」の様子（11/28開催）

■学友会・SA・AA対象のワークショップ

12月17日に「障がいのある学生の理解と支援」に関するワークショップ（講師：宮崎学園短期大学 松田昭憲先生）を開催しました。

学友会・SA・AAの学生18名が参加し、多くの質問が出る有意義なワークショップとなりました。



ワークショップの様子

宮崎学園図書館

令和3年2月1日(月)「令和2年度多読賞(*)」の発表を行いました。受賞者の皆さん、おめでとうございます。

*貸出冊数の上位者(※漫画は除く)

国際教養学部			
1位	4年	川添 粒華さん	126冊
2位	3年	末吉 晃広さん	99冊
3位	2年	山元 悠希さん	76冊
4位	2年	桑原 大輔さん	62冊
5位	2年	黒木 高雅さん	55冊
教育学部			
1位	4年	黒木 美帆さん	99冊
2位	3年	古里 陽奈さん	91冊
3位	4年	岩本 夏実さん	88冊
4位	3年	森川 友梨奈さん	78冊
5位	2年	湯浅 七海さん	69冊

■日頃の学習や活動の「場」として、図書館を利用してませんか？

宮崎国際大学・宮崎学園短期大学の学生・教職員であればどなたでも大歓迎です！ <例えば・・・>

- ・サークル活動や個人の活動の紹介(写真・イラスト・パネル・製作作品展示など)
- ・講義内外で制作した作品や研究成果物展示
- ・教職員の著作物展示

その他、展示してみたいことがございましたらお気軽にご相談ください。

連絡先：宮崎学園図書館 ☎0985-85-1410

✉library@sky.miyazaki-mic.ac.jp

学務部（重要）

【国際教養学部】

■新4年生へ

卒業要件：124単位以上、GPA1.50以上

卒業論文：勝手に進めず担当教員と十分に相談してください。盗用した文章のある論文、未完成の論文の提出は一切認められませんので留意してください。（発覚した場合、点数を取り消します）

■進級等要件：2年次(18単位以上)、海外研修(36単位以上)、3年次(52単位以上・TOEIC500点以上)、4年次(87単位以上)

■教育実習：教職課程を履修している学生の教育実習参加基準はTOEIC600点以上です。3年次後期までの全ての教職課程科目を修得していることが必要となります。

【教育学部】

■新4年生へ

卒業論文：卒業論文登録要件の一つに、各学期のGPA平均値が1.50以上とあります。毎学期、確認しましょう。

教員採用試験：教員採用試験受験日が近づいています。目標達成に向けてしっかり勉強してください。

【両学部】

■履修登録：大学から事前に履修登録についてEメールで案内しますので、必ず確認してください。履修登録は3月下旬を予定しています。

■修得単位数の確認：入学年度の学生便覧、履修カルテ（教育学部）、学生便覧巻末のチェックリスト（国際教養学部）を活用し、進級・卒業要件や免許状及び資格取得要件の必要単位を満たしているか毎学期確認し、各自、計画的に履修してください。

■TOEIC IP：TOEIC IPを受験する機会を下記のとおり予定しています。詳細はメールで案内します。

3月16日（火）* 進級・教育実習参加基準を満たしていない学生は必ず受験してください。

4月 1日（木）* 新1年生、新3年生は必ず受験してください。新1年生、新3年生は無料で受験できます。

■予防：新型コロナウイルス感染状況によっては、いつオンライン授業に変更されるかわかりませんので、対応できるように準備を整えてください。常日頃からマスクの着用、検温等も実施してください。

■大学からの連絡：春季休業期間中も大学からの連絡がメールにて行われます。毎日メールを確認するようにしてください。

前期学費の納入について

前期学費の納入締切日は4月9日(金)です。学費振込依頼書は保護者様宛てに送付いたしますので、期日までに納入をお願いします。期限までの納入が困難な場合は、総務部へご相談のうえ、納入期限まで(4月9日)に「学費延納願」をご提出ください。

駐車場使用申込について

インターネットからお申込みください。詳しくはメールを確認してください。

宮崎国際大学

在学生・保護者向けニュースレター



MIC通信

2020年度後期

Newsletter for MIC students and parents

February, 2021

学長あいさつ

新型コロナウイルス感染症の世界的な流行の中で、無事に1年を終えようとしています。

1年の約半分がオンライン授業となり、初めての経験に戸惑った学生も多かったと思いますが、本当によく頑張ったと思います。授業に加え、学友との楽しい語らいや励まし合っの試験勉強、クラブ活動の時間が持てなかったことに心が痛みます。

学生たちが心身ともに大変な中において、保護者の皆さまには、ご理解とご支援を頂きましたことに心からの感謝を申し上げます。

コロナ禍の大きな制約の中で、4年生は就職でも努力を重ね、金融保険業に8名内定、教員採用試験11名現役合格、公務員3名合格など、大変高い実績をあげることができました。このような実績を支えたものが、今年度からさらに充実させたキャリアサポートプログラムです。SPI、公務員、エアライン、教員採用試験（一次・二次）等の対策講座に参加した学生たちは着実に力をつけ、見事合格を勝ち取ることができました。1・2・3年生は、今後のプログラムに是非参加してください。

また、コロナ禍の中で、今年度は初めてのオンライン大学祭を開催しました。学友会が企画、運営し、映像を通して学生たちの個性豊かな姿を見ることができ、とても嬉しく思いました。

厳しい1年でしたが、乗り越えることができたこの経験は、困難な中でも最善を尽くす体験として、学生たちの人生にプラスになることと思います。

なお、卒業式の様子は保護者の皆さまにはライブ配信します。お子様方の晴れの姿をご覧ください。在学生とは4月に、このキャンパスで元気にお会いしましょう。

宮崎国際大学は、世界へ羽ばたく学生を育て、地域に愛され、求められ、信頼される大学を目指して、教育にさらに邁進します。

今後ともご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

新年度オリエンテーションのご案内（新2・3・4年生対象）

新年度を迎えるにあたり、オリエンテーションを実施します。新2・3・4年生が対象です。全員参加してください。

日にち：4月 6日（火）

内 容：学長挨拶、新任者紹介、諸連絡等

※ 各学部に分かれて実施予定です。詳細については学内メールで連絡します。

※ 4年生は12：00から胸部レントゲン撮影を実施します。金具・ボタンのないTシャツ等を準備してください。胸部レントゲン撮影は、就職活動に必要な健康診断項目の一つです。2・3年生の受診日は別に設けます。

※ 今後の新型コロナウイルス感染拡大等の状況によっては、予定を変更する場合があります。その際は、決定次第ご案内します。

本紙コンテンツ

◆学長あいさつ

◆新年度オリエンテーション案内

◆国際教養学部

◆教育学部

◆グローバル教育センター

◆学生教職支援センター

◆キャリア教育センター

◆地域連携センター

◆入試広報部

◆各種お知らせ

学生部

宮崎学園図書館

学務部

前期学費の納入について

駐車場使用申込について

お問い合わせ

発行：宮崎国際大学 学生部

〒889-1605

宮崎県宮崎市清武町加納丙
1405番地

TEL 0985-85-5931

国際教養学部

今年度は皆新型コロナウイルスのパンデミックに驚かされました。とりわけ、教育へのパンデミックの影響は非常に大きく、日本の多くの教育機関はこの状況下で学生を教えるための最善の方法を新しく探さなければなりません。国際教養学部は、オンライン授業の準備を非常に迅速に行いました。教員たちは、お互いに知識を共有し、学生に最善の方法でオンライン指導を提供できるように、オンラインと対面とで協議しました。前期の授業は数日遅れて始まりましたが、教員たちは各科目においてシラバスに設定したすべての教育目標をカバーすることができました。後期はキャンパスに戻り対面授業をしましたが、何名かの1年生は入国できませんでした。このような学生たちがキャンパスに来られるようになった12月まで、いくつかのハイブリッドコースを継続しました。かつての生き生きと活気に溢れたキャンパスの喜びは今でも覚えています。残念ながら、新型コロナウイルスの新しい波が1月に発生し、再びオンライン授業に移行することを余儀なくされました。国際教養学部は再び非常に迅速にシフトし、学期の終わりまで授業は問題なく実施されました。2020年は、我々が変化に迅速に対応できることを証明し、また、オンライン教育に関する多くの貴重な学びを経験しました。2021年にどんな驚きが待っているとも、国際教養学部の教員は万全の態勢で臨み、最高の教育を学生が受けられるよう皆で協力していきたいと思っております。

教育学部

大学の講義における授業外学修時間について

大学の講義は、「大学設置基準第21条において、1単位につき45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、単位数を計算するものとする」と規定されています。この規程は1単位30時間の講義と授業前後に合計15時間の授業外学修を行うこととして取り扱われています。通常、大学の講義は2単位で設定されており、各学期20単位を上限とした場合、細かい計算は除きますが、1週間あたり合計して80時間の授業外学修時間が求められます。それでは、実際はどのようなのでしょうか。教育学部では前期において7月中旬、後期において1月中旬に授業外学修時間のアンケート調査を行っていますが、今年度前期の調査では「1週間あたり」で4年生は平均34.9時間（63時間～10時間）、3年生は平均29.3時間（46時間～10時間）、2年生は平均17.1時間（38時間～5.5時間）、1年生は平均16.7時間（36時間～7時間）でした。学年進行とともに授業外学修時間が長くなっていることは喜ばしいことです。また、今年度第4回目の卒業生を送り出しますが、1期生～4期生の学生について、学業成績（GPA）、授業外学修時間及び教員採用試験現役合格率の関係を計算したところ、非常に高い相関関係が見られました。これらの結果から、学生諸君には、今後とも真面目に講義を受講し、事前事後の授業外学修時間を確保しつつ勉強することが、教員採用試験現役合格の近道であると指導していきたいと考えています。

グローバル教育センター

国際教養学部では2年次後期に16週間の海外研修が必修ですが、今年度は新型コロナウイルスにより中止となり、新しい試みとして海外提携大学とズームを使ってライブ授業を行う「オンライン海外研修」を実施しました。

学生は、「アメリカ」「カナダ」「オセアニア」の3グループに分かれ、各大学の教員や学生、時には現地の様々な人々とオンラインで繋がり、それぞれの国・地域、その文化などを直接学びました。またディスカッションも頻繁に行われ、学生はライブ授業を通して英語力をブラッシュアップしました。本学の担当教員は、海外から提供される学習内容のフォローアップやそれを補完する授業を行い、学生の「海外研修体験」をより充実したものにしました。

今回、このプログラムを提供してくれた大学は、アメリカ2大学（Sonoma State University, California State University San Marcos）、カナダ3大学（Simon Fraser University, University of New Brunswick, University of Victoria）、オセアニア2大学（University of Wollongong in Australia, University of Otago in New Zealand）の7大学でした。

学生教職支援センター

現役学生が毎年教員採用試験に合格

令和3年度採用公立学校教員採用試験に、卒業生を含む14名(中学校1名、小学校13名)が合格しました。現役学生では、一次試験合格者17名中11名（65%）が公立小学校二次試験で見事に合格の栄冠を手に入れました。また、卒業生も小学校2名、中学校1名、計3名が合格しました。さらに、公務員試験では現役学生が3名、卒業生1名が合格しました。教員採用試験に合格した4年生は、一次試験の発表の後、学内教員はもとより、学外講師も招聘して毎日模擬授業や個人面接、英会話の練習などに取り組み、合格を勝ち取りました。

一方、合格に手が届かなかった学生たちも、気持ちを切り替えて出身県の臨時的任用講師の登録申請を済ませ、4月から教育現場で子どもたちの教育に当たる覚悟です。本学では、講師の経験を積んだ卒業生が、教育現場での実践を踏まえて毎年のように合格しているので、次年度、必ず合格の栄冠を手に入れます。



「オンライン海外研修」の様子

キャリア教育センター

〈TSキャリア〉による就職支援

宮崎国際大学では、入学当初からTS(Three Stages = {3段階})による就職支援を行っています。まず第1段階として、キャリア形成支援科目を必修で開講しており、これは学生が自分の進みたい未来を思い描いてその計画を立てることを目標とした科目です。第2段階として、スキルアップ講座を開講しており、これは学生が目指すキャリアに近づくための各種試験に向けた対策講座で、1年次から受講できる学内実施の連続講座です。第3段階として、キャリアサポートプログラムを開催しており、これは就職に向けた実践対策で、理想の就職を目指す学生を徹底的にサポートします。

宮崎国際大学は、キャリア教育センター及び学生教職支援センターを拠点に、学生の「自分探し」から免許・資格取得・就職まで一人ひとりの人生設計をサポートするプログラムを用意して、企業・公務員・教職等への進出をサポートしています。

地域連携センター

2020年度の地域連携センターの活動は、コロナ禍のため大幅に制限されましたが、昨年度に引き続き今年度もダイバーシティに満ちたグローバル社会における人権を考えることを目的として、2つの人権講座を企画・実施しました。A企画では、あらゆる人が差別を受けず幸せになるための「グローバル社会宮崎における外国人の人権」、B企画では「Marriage for all! 学生と当事者がともに考えるー結婚の自由をすべての人に」を実施し、参加者一人ひとりが人権意識や人権感覚を高めていくことを目指しました。ここで、A企画を紹介します。



「留学生30万人計画」や少子高齢化などに伴う労働人口の確保等のため、日本に住み永久に生活していく外国人の人口が増えていくことによって発生すると予想される人権の課題をテーマとして、岡山大名誉教授の池畑 修一 先生をお招きし基調講演を行いました。その後、「グローバル社会の宮崎における外国人の暮らしの課題と今後の展望」をテーマとしたトークセッションに、池畑先生に加え、登壇者としてスパークジャパン(株)人事部長の波江野 正二 氏、宮崎市国際交流協会事務局の新里 淳一 氏をお招きし、本学教員のヒメネス フェリクス 講師、本学地域連携センター副長のウォーカー ロイド及び本学留学生3年のキリバエ ヴァ カリナさん（カザフスタン出身）を加えて、様々な方面から日本や宮崎を取り巻く人権の課題について議論を行いました。また、その課題解決に向けた取り組みについて宮崎学園高校の生徒が事例発表を行い、世代を超える観点から人権について考えました。

入試広報部

見たことのない景色を見て、見たことのない自分に出会う

本学は学生の満足度が高いことをご存じですか？昨年度のアンケートでは「授業・指導の充実」については86%が「充実している（10段階評価の7以上）」、「大学生活」については82%が「満足している」と回答しています。何故満足度が高いのでしょうか？その要因の一つに「自分の成長を実感できること」が挙げられます。「見たことのない景色を見て、見たことのない自分に出会う」、これは本学卒業生の言葉です。高校までとは全く異なる講義内容、クリティカルシンキング、アクティブラーニングによる深い学び、充実した海外研修や対策講座、少人数であるからこそ出番の多いイベント等。本学ではこれまで経験したことのない様々な体験ができ、「見たことのない景色を見る」ことができます。そして、その体験・経験を通して大きく成長し、それを実感し、「見たことのない自分に出会う」ことができるのです。それが満足度に繋がっていると考えています。これは本学の大きな魅力で、入試広報部ではこのことを全面に出して広報活動に努めています。学生の皆さんも、その成長した姿を積極的に表に出しPRにご協力ください。

